世界遺産を守り、繋ぐ

次世代の担い手を育成

世界遺産を保存・継承していくため、県内の小・中学校生や高校生を対象に、世界遺産についてわかりやすく学習できる各種講座と、現地での参詣道ウォークや清掃活動、道普請を世界遺産マスターと行う「次世代育成事業」を実施しています。これまで1万2千人のこども達が参加し、地域への愛着を深めています。

世界遺産マスター
世界遺産の保全と適切な活用を推進するための民間リーダー

世界遺産を次世代に伝える　石坂 容子さん（世界遺産マスター）

「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録されて、初めて世界遺産を身近に感じ、どのように維持・管理されているのか知りたくて世界遺産マスターになりました。こども達には、地元にある世界遺産を家族や友達に伝えて、一緒に熊野古道を歩いて体験して欲しいこと、世界遺産を守り伝えるために道普請などの活動があることを、年齢に合わせてわかりやすく話をするように工夫しています。古道を歩いたこども達の感想には、「今度は、家族と歩いてみます」など、私が話したことを受けとめてくれたことを知り、とてもうれしく思いました。これからも、世界遺産を貴重な財産として守り、次の世代に伝えることを続けたいと思っています。

「紀州語り部」を育成

「紀州語り部」は、県内各地域の歴史・文化・自然などを来訪者に伝え、安全で楽しい旅のお手伝いをする案内人です。世界遺産地域においても、各地域の資産が持つ魅力を伝える多くの「紀州語り部」が活躍しています。

県では、おもてなし力の向上を促す研修会や相互連携を図る連絡会議を開催し、「紀州語り部」の育成に取り組んでいます。

世界遺産の魅力を伝える　森下 稔さん（高野山町石道語り部の会　会長）

「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録される際に語り部の担い手が必要と聞き、町石道周辺の歴史や草花など自然の素晴らしさを伝えていきたいと思い、語り部になりました。

年間で約20回お客様を案内していますが、その際は、事故やケガのないように、道に迷わないように特に気を付けています。また、できるだけわかりやすい言葉で、年齢や趣味に合わせた案内を心がけています。お客様から楽しかったと感想をもらったり、以前案内したことを覚えていてくれたりするとうれしい気持ちになります。

今後は、次世代の語り部の育成や、町石道だけでなく他の高野参詣道の魅力を多くの方に伝えていくことに力を入れて取り組んでいきたいと考えています。

和歌山県世界遺産センター

世界遺産を次世代に継承していくため、また、来訪者が「高野・熊野」や参詣道など実際の世界遺産地域への関心を高めるために設置された啓発・学習拠点です。各資産の価値や魅力などをパネル等で紹介するとともに、世界遺産セミナーや学校・団体向けの講座、道普請等の保全活動など、世界遺産保全への意識づくりや活動の推進に取り組んでいます。

問：和歌山県世界遺産センター
〒647-1731
田辺市本宮町本宮100-1
時間：9時～17時　☎0735-42-1044　FAX0735-42-1560

世界遺産を楽しむ

世界遺産登録20周年記念「聖地リゾート！和歌山キャンペーン」

県では、世界遺産登録20周年を契機に、関係機関と連携し、世界遺産や温泉、グルメなど、本県の魅力を楽しむことができる各種観光キャンペーンやイベントなどを実施していきます。

聖地リゾート 和歌山

令和の熊野詣

平安時代より上皇や貴族らによって行われた「熊野御幸」を再現し、「令和の熊野詣」と題した熊野古道中辺路のリレーウォークを順次開催します。

- リレーウォークは全6回（9～12月）
- 熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社、那智山青岸渡寺での到達セレモニー（正式参拝等）や滝尻王子でのお茶会など、各回特別な企画を実施

詳しくはこちら

参詣道を歩いてみよう

わかやま語り部ウォークLINE友だち募集

「令和の熊野詣」や紀州語り部等が案内する和歌山県内のウォークイベント情報を随時配信しています。

友達追加はこちら

スタンプを集めて参詣道を踏破

県内の参詣道「高野七口」「熊野古道紀伊路」「熊野古道中辺路」「熊野古道大辺路」のウォーキングを楽しむための押印帳を用意しています。各押印帳のすべてのスタンプを集めて踏破した方には、踏破証明書と記念品をプレゼントします。

詳しくはこちら

※「熊野古道中辺路」のみ有料

聖地リゾート！和歌山モバイルスタンプラリー

世界遺産や絶景、グルメなど、本県の魅力を楽しむことができるスタンプラリーを開催しています。3月22日より「わかやま歴史物語100」「フォトジェニック わかやま」「お得にわかやまグルメTRIP」の新ルートを開始しました。

期間：開催中～令和7年2月28日（金）まで

アプリのダウンロードはこちら

「海の熊野古道　大辺路」ガイドブックを改訂

海と山が織りなす風光明媚（めいび）な参詣道として文人墨客（ぶんじんぼっかく）が愛した海の熊野古道「大辺路」のガイドブックを改訂。県立神島高校写真部員が新たに撮り下ろした写真や、串本町と那智勝浦町のページを追加しました。

ガイドブックはこちら

観光事業者等との協働キャンペーン

観光客の県内周遊を促進するため、観光事業者等と協働したキャンペーンを実施します。

期間：7月1日（月）～9月30日（月）
内容：JR線自由周遊と県内の交通機関や観光施設の入場券がセットになった特別商品の販売等

その他の予定企画

- 各社寺等で所蔵されている世界遺産に関連する美術工芸品を現地で鑑賞するための電子リーフレットの公開（7月頃）
- 世界遺産の魅力を伝える写真パネル展の開催（11月頃）

「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産登録20周年記念の特設ページを開設しました

特別拝観・限定御朱印等の世界遺産登録20周年を記念した各社寺の特別企画や、各種ウォークイベント、その他地域のPRイベント等を紹介しています。

特設ページはこちら